

『三つの死と三つのいのち』 ローマ人への手紙8章34～39節 2017.4.16(イースター礼拝説教より)

『ダビデの子孫として生まれ、死者の中からよみがえったイエス・キリスを、いつも思っていないさい。』

テモテへの手紙 第二 2章 8節

罪は私たちに『3つの死』をもたらすが、甦られたイエス様は、『3つのいのち』を回復される。

❶**霊的な死と霊的ないのち**…全ての人は神に創られ、神の愛の中でこそ正しく生きる！しかし『善悪を知る木の実を食べれば必ず死ぬ(創世 2:17)』との神の警告を破った人間は、神の愛を離れ、神様ぬきに善悪を判断しはじめ、国と国は敵対し、夫婦・親子・兄弟関係、そして世の平和は壊された。しかし神は、私たちを愛して御子を世に送られた。『罪から来る報酬は死…しかし神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのち(ローマ 6:23)』とある！罪のない聖いお方が、私たちの罪を背負い、代わりに罰を受け、十字架で死なれ、葬られ、甦られた！自分の罪を認めて、身代わりの死を信じて神様に謝り、イエス様を自分の救い主として心に迎えるなら、あなたの全ての罪は赦され、神の愛に回復される。『霊的な死』とは神の愛から離れること！『霊的ないのち』とは、神の愛に立ち返ること。★あなたは自分の罪を認めて、イエス様を心に迎えただろうか？

❷**肉体の死と復活のいのち**…『血肉のからだは神の国を相続できません。…朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならない(I コリント 15:50～53)』！罪によって、私たちは神の怒りを受け、肉は呪われ、裁かれた。病や試練に苦しみ、疲れ、弱り、老い衰えて、やがて死んでいく。肉で犯した罪は、肉で償うものである。『血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはない(ヘブル 9:22)』の通り、イエス様は、その生身の肉を十字架にかけ、血を流し、肉を裂いて、罪の呪いを打ち砕き、復活した栄光の身体を見せてくださった(ルカ 22:36～43)！イエス様を信じる者も同様に、二度と死なない復活(栄光)の身体をいただくことができる！

❸**永遠の死と永遠のいのち**…『人は一度死ぬことと、死後にさばきを受けることが定まっている(ヘブル 9:27)』…死後、全ての人が神の前に立ち、その場で、永遠の滅びか、永遠のいのちかが決定されるという。そのさばきの場に、唯一人頼みとする方…復活された弁護者なるイエス様がおられる(ローマ 8:34)！主を信じる者は永遠のいのちを持つ。

★あなたは、3つの死に対する3つのいのちを、「今」持っていますか？今、主の前に自分の罪を清算して、永遠の御国の朝に目覚める希望をもって地上の生涯を終えられますように！